

市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	農産物直売施設商圏調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ	
担当部署名	建設部産業課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候を生かした新たな産業の創出 III-1-6	
事業内容	本町の農作物を活用した6次産業化を進め、地産地消の推進を図るため、農作物の加工・直売所施設建設に向けた商圏調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	2,500				
		(b) 予算現額	2,500				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,500				
	<b>執行の状況</b>	B. 執行済額	2,415				
		うち交付金充当額	1,932				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	96.6%					
予算の状況の説明	不用額が85千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	商圏調査の実施	目標	( 施設立地可能性検討 )	( )	( )	( )	
		実績	施設立地可能性検討				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	西原町内において農産物直売所等の施設立地可能性について各種総計データや商圏調査、既往施設の事例等に基づき検討を行い、候補地(数箇所)の評価ができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	商圏調査の実施	目標	( )	( 施設立地可能性検討 )	( )	( )	( )
		実績		施設立地可能性検討			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	立地可能性調査に基づき、候補地の選定や施設規模を検討する基礎資料として活用できる。					

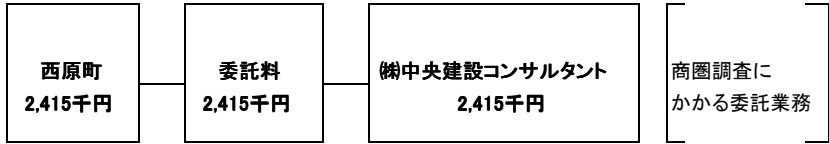
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	西原町内での農水産物直売所等の立地可能性は、商圈・購買予測より、採算性の面からも問題ない。 今後は、実現化に向けた候補地の選定や施設規模の検討が必要。	実現化に向け、下記の検討を行う必要がある。 ・候補地の選定・施設規模等 ・事業量・事業費の積算 ・経営計画作成 ・費用対効果等

**今後の取り組み方針**

平成24年度の立地可能性調査に基づき、25年度は、農産物直売所等の基本構想及び基本・実施設計を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,415	2,415	1,932	483	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札で決定しており妥当である。 ○費目・使途についても妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光マップ作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部産業課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	魅力的な観光スポットや文化財等を紹介した多言語対応の観光マップを発刊し、まちの魅力を発信する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,869				
		(b) 予算現額	1,827				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 42				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,827				
	B. 執行済額		1,827				
	うち交付金充当額		1,461				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光マップの作成	目標	( 20,000部 )	( )	( )	( )	
		実績	20,000部				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	まちの魅力を広く発信するために、町内、県内および県外施設へ設置することを想定。また、作成後適時配布するために、5年程度の必要部数を想定し20,000部を作成。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	観光マップの作成(町内5施設、モノレール駅及び県外沖縄事務所等に配布)	目標	( )	( 20,000部 )	( )	( )	( 20,000部 )
		実績		20,000部			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	本町には今まで、民間施設を紹介した観光情報ツールがなく、公共施設だけの掲載にとどまる情報誌しか作成できず、観光情報としては魅力に欠ける状況であった。今回、沖縄振興特別推進交付金を活用することで、民間飲食店舗などの情報を盛り込み、各事業所にテーマ性を持たせた紹介をするなど、まちの魅力を広く発信する観光マップを作成することができた。平成24年度は4,268部の配布を行い、作成後、町内の主要施設で配布したことに加え、モノレール駅、自動車道サービスエリア、沖縄県が構える各都市圏の事務所へ依頼を行い設置を行った。初年度は初めての依頼ということあり特別に設置の協力を得ることが出来た施設もあり、多くの部数を設置することができた。また、町内の大型商業施設では好評を集め配布も好調であった。					

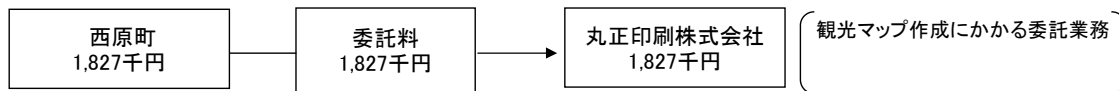
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>初年度は初めての依頼ということあり特別に設置の協力を得ることが出来た施設もあり、次年度以降は設置が厳しい施設もある。そのため、設置が可能な施設での配布状況がどの程度になるか見極めた上で、必要があれば配布方法を検討する必要がある。</p> <p>また、那覇空港においては、空港管理の配布スペースは現在設置ができない(管理上の問題があるとのこと)ため沖縄観光の玄関口である那覇空港への設置をどのように進めるかを検討する必要がある。</p>	<p>町内の大型商業施設では配布が好調であり、施設側との連絡体制構築や、設置方法の検討により、より一層の周知が図ることができる可能性がある。</p>

**今後の取り組み方針**

今回の取組は以前から要望のあったマップの整備であったため、一定の効果を得られており、順調に推移していると考えられる。今後は、配布をさらに進め、町内への来訪者を増やしていきたい。また、適時内容を見直し、充実強化を図りたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,827	1,827	1,461	366	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札で決定しており妥当である。 ○費目・使途についても妥当である。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

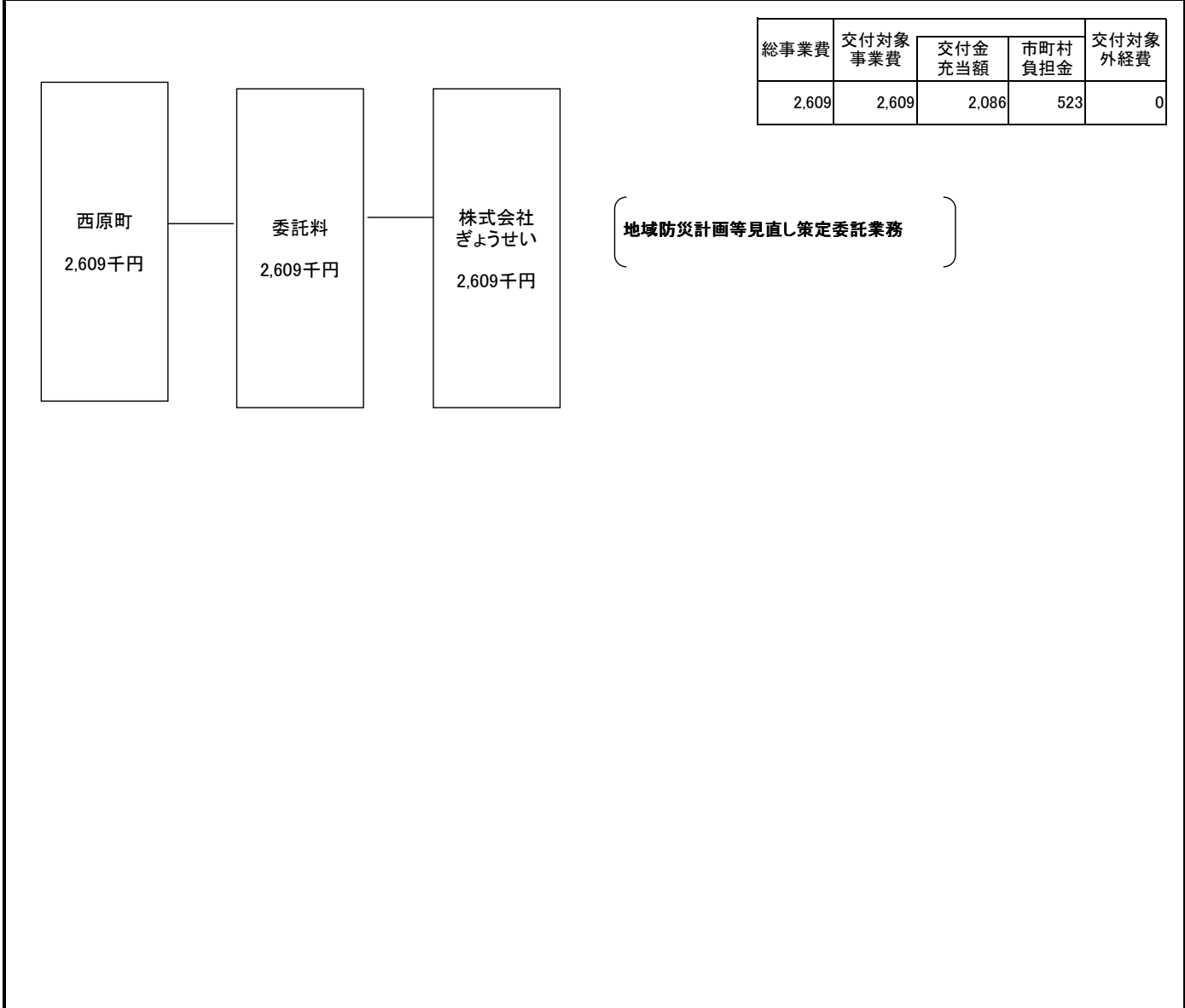
市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	地域防災計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	総務部総務課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	地域防災計画の見直し、職員初動マニュアルなどを作成し、災害時における住民及び観光客などへの迅速な対応を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				
		(b) 予算現額	2,609				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,391				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,609				
	B. 執行済額		2,609				
	うち交付金充当額		2,086				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当許計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	地域防災計画の策定(計画書(100部))	目標	( 防災計画の策定 )	( )	( )	( )	
		実績	防災計画の策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	地震・津波編の追加や職員初動マニュアルを作成し、町ホームページへの掲載、各職員への配布を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	地域防災計画の策定(計画書(100部))	目標	( )	( 策定 )	( )	( )	( )
		実績		策定			
	【参考指標】		目標	( )	( 関係機関への周知 )	( )	( )
	防災計画書の町防災会議委員、各部・課長、町議会議員、各自治会長へ配布、HPに掲載		実績		計98部配布		
	進捗状況説明	各行政区、町議会議員への防災計画の配布、HPへの掲載による計画の周知を完了している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	業務多忙により、職員マニュアルを確認し、災害時に対応できる体制ができていない。 各自治会の自主防災組織の結成がほとんどされていない。	災害時にマニュアルに応じて行動ができるように、防災訓練を積み重ねる必要がある。 各行政区自主防災組織の結成の推進(支援)を図る必要がある。

**今後の取り組み方針**

策定した地域防災計画の実効性を高めるため、定期的な防災計画の見直し、防災訓練等の実施、自主防災組織の結成(支援)に取り組んでいきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		西原町					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	2-③	棚原の石畳道の石垣整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第三章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成				
<b>担当部署名</b>	教育部生涯学習課	<b>事業実施（予定）年度</b> H24年度～H33年度	<b>沖縄振興基本方針 該当箇所</b> III-1-(1)				
<b>事業内容</b>	観光振興、文化財保護及び歴史的景観保存の観点から、本町の棚原地区に残されている古道（石畳道）沿いに積まれている石積みを復旧・整備する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,720				
		(b) 予算現額	1,719				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,719				
	B. 執行済額		1,719				
	うち交付金充当額		1,375				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	棚原の石畳道（幅員1.8m、延長27m）沿いに積まれている石垣の整備	目標	（ 石垣復旧 ）	（            ）	（            ）	（            ）	
		実績	石垣復旧				
		目標	（            ）	（            ）	（            ）	（            ）	
		実績					
達成状況説明	「棚原の石畳道」の東側の取り外されていた石積み、崩れかかっている石積みの積み直しを行った。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	棚原の石畳道（幅員1.8m、延長27m）沿いに積まれている石垣の整備	目標	（            ）	（ 石垣復旧 ）	（            ）	（            ）	（            ）
		実績		石垣復旧			
	【参考指標】		目標	（            ）	（            ）	（            ）	（            ）
			実績				
	進捗状況説明	石積みが一部取り外されている箇所や、崩れかかっている石積みの積み直し作業は年度内で終了。集落内にある古道（石畳道）としての歴史的景観保全の一助となる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今回は、石畳道の景観保全と、それによる町内の観光資源となる文化財の基盤整備として復旧工事を行った。しかしながら、石畳道はまだ文化財の指定を受けていないことから、法的な保護等が図れない。そのため、文化財指定に向けた取り組みを検討したい。また、保護・活用等について地域の自治会やガイド団体、関連部局との連携を図っていく必要がある。</p>	<p>今後、「棚原の石畳道」の保護(文化財指定)に向けた取り組みだけでなく、観光資源の一つとして、棚原地区に数多く所在する文化財を有機的に結びつけた活用や整備を検討していきたい。</p>

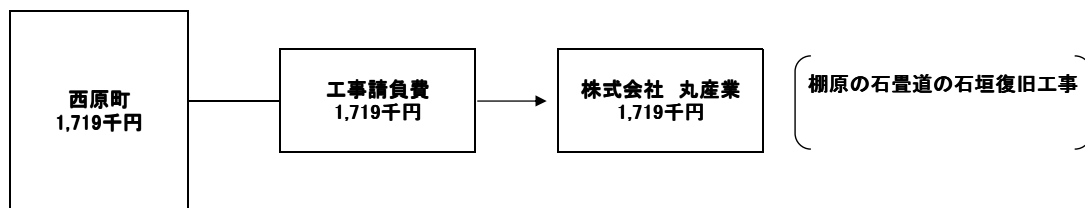
**今後の取り組み方針**

今後の「棚原の石畳道」の取り組み方針

- ・文化財の指定へ向けた取り組みを検討する。
- ・地域住民やガイド団体、関連部局との協働による保護・活用を検討する。
- ・棚原地区内に数多く所在している文化財との有機的な活用を検討する。
- ・町内でも文化財が数多く残されている棚原地区を、文化財散策のモデル地域としての整備を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,719	1,719	1,375	344	0



資金の流 れ、費 目 ・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○工事の内容は、文化財中心の景観づくりに関することから、通常の積算ではなく、市場価格調査を行い、その結果を参考に(平均値による)積算を行ったため、予算規模は適正と考える。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



<b>市町村名</b>		西原町					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	2-④	走る広告塔事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第三章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成				
<b>担当部署名</b>	総務部税務課	<b>事業実施（予定）年度</b> H24年度～H33年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b> Ⅲ-1-(1)				
<b>事業内容</b>	本町の地域振興・観光振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成・取付する。また、従来標識にはない「発光塗料」も併せて採用することで、交通安全の一助となるよう工夫する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,225				
		(b) 予算現額	1,901				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,324				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,901				
	B. 執行済額		1,901				
	うち交付金充当額		1,520				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		見積書より、当初予算額をはじき出したが、実際にオリジナルナンバープレートを作成後、請求額が見積額を下回ったため予算を減額している。当該事業の内容はすべて実施済み。不用額なし。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	オリジナルナンバープレートの制作5,000枚（3年分）	目標	（ 5,000枚作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	5,000枚作成済				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	平成24年度は、5,000枚のナンバープレート作成を目標、達成済み。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	オリジナルナンバープレートの制作5,000枚（3年分）	目標	（ ）	（ 5,000枚作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		5,000枚作成済			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	オリジナルナンバープレートのデザインを広報等でする中で、町内の小学校・中学校・高校・一般において、多くの募集があり、自らの地域への愛着が沸く取り組みとなった。また、多数の応募があったため、選考結果についても関心が高く、地域を巻き込んでの楽しい取り組みとなった。選考結果についても、授賞式の様子が新聞で取り上げられた。加えて、オリジナルナンバープレートが交付される前日にも新聞で取り上げられるなど、町内外へ西原町をアピールするよい機会となった。					

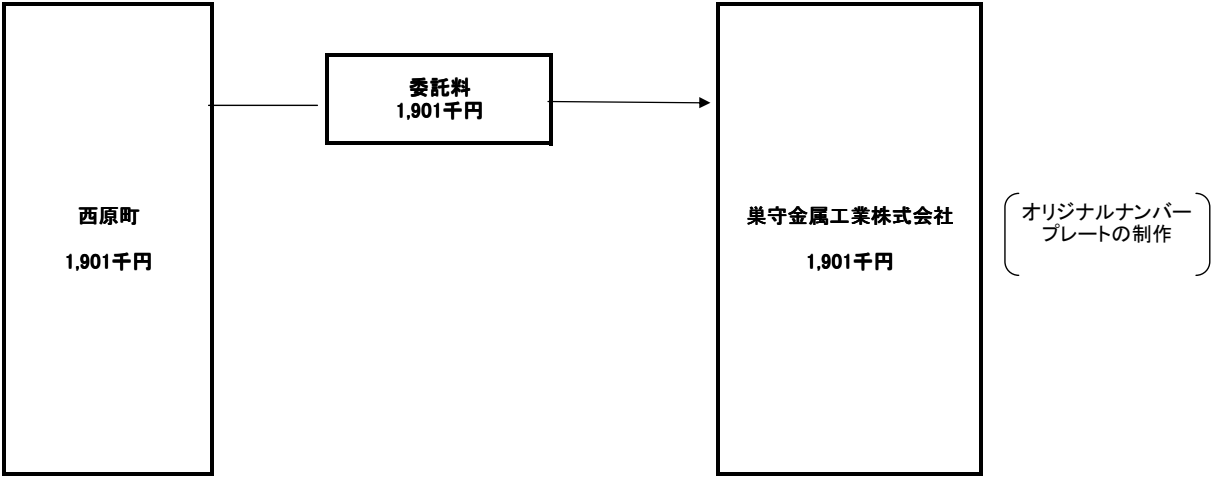
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成24年度はオリジナルプレート作成を目標に事業を進め、地域活性化を図ることができた。 オリジナルプレートを作成する市町村が増加し、よい波及効果が期待できる。 平成25年度以降は、オリジナルプレートの普及促進が課題である。</p>	<p>普及枚数の促進を図る取り組みが必要。(広報、新聞等を使ったPR活動等) また、地域・観光振興と絡めながら、機会ある毎にナンバープレートのPR等を行う必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

広報誌等を使ったPR活動を通してオリジナルプレートの普及促進を図りたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,901	1,901	1,520	381	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者の選定にあたり、沖縄県内にオリジナル標識の製作が可能な業者が存在しないこと、既に導入済みの市町村の実績を踏まえ随意契約とした。予算規模は適正と思われる。受益者負担については、無料でオリジナルプレートの交付を行っているが、走る広告塔として西原町を宣伝してもらうことで西原町をアピールできるため相当と思われる。資金の流れ等においても適正に行われている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		西原町					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	2-⑦	災害・事故等避難所環境整備事業		<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第3章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成		
<b>担当部署名</b>	教育部生涯学習課	<b>事業実施（予定）年度</b>	H24年度～H33年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b>	Ⅲ-1-(1)		
<b>事業内容</b>	台風等の災害時に観光客等の安全を確保するため、避難所である中央公民館の台風や塩害による破損箇所等を整備し、安全性向上と長寿命化を図る。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	65,114				
		(b) 予算現額	60,848				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,266				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		60,848				
	B. 執行済額		60,848				
	うち交付金充当額		48,678				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不要額4,266千円は、工事請負費の入札残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中央公民館の破損箇所等の整備及び安全性の向上	目標	（ 破損箇所等の整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	破損箇所等の整備完了				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	1階談話室の屋根及び天井解体後鉄板屋根葺き工事、外壁・コンクリートスラブのハツリ補修、亀裂部樹脂注入、塗装、防水工事、屋根防水工事等を行った。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	中央公民館の破損箇所等の整備及び安全性の向上	目標	（ ）	（ 破損箇所等の整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		破損箇所等の整備			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	補修工事の実施により、避難所としての安全性が高まったため、台風等の災害時に、住民や観光客の安全性を確保することができる。					

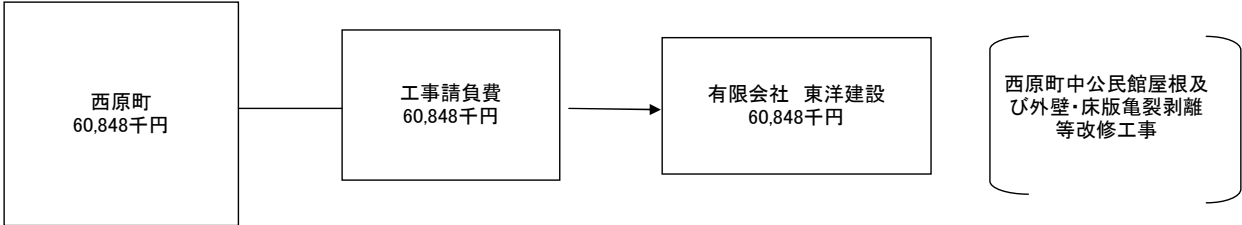
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	災害避難施設である中央公民館の天井剥離による補修や、ハツリ補修、屋根防水工事等を行ったことで、台風等による被害は軽減できると考える。	今後も、安全性を確保していくため、適宜維持・補修を行っていく。

**今後の取り組み方針**

避難所である中央公民館の維持点検を行いながら避難施設としての安全性の確保を進めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
60,848	60,848	48,678	12,170	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札にて業者選定をしており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		西原町					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	2-⑨	公園樹木等環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成				
<b>担当部署名</b>	建設部都市整備課 教育部生涯学習課	<b>事業実施（予定）年度</b>	H24年度～H33年度				
			沖縄振興基本方針該当箇所 III-1-(1)				
<b>事業内容</b>	沖縄県は国内唯一の高温多湿の亜熱帯性気候という気象条件から、季節を問わず年中雑草等が繁茂し、植物の育成が早いという特徴がある。観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,620				
		(b) 予算現額	11,661				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 959				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	11,661				
	B. 執行済額		11,661				
	うち交付金充当額		9,328				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	町内公園の美化・緑化実施箇所	目標	( 3箇所 )	( )	( )	( )	
		実績	3箇所				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	樹木等や芝管理、雑草等の管理を行い、沖縄らしい景観を確保することが出来た。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	町内公園の美化・緑化実施箇所	目標	( )	( 3箇所 )	( )	( )	( )
		実績		3箇所			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	雑草等の除草作業を行うことで、沖縄らしい景観・美観の保全することが出来る。交付金を活用したことにより、これまで実施できなかった細かな部分まで対応でき、安全面の向上も図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度は事業実施が遅かったため、雑草等が繁茂する観光シーズンと台風シーズン(7月～9月)に合わせた効果的な環境整備とならなかった。今後は実施時期を当該シーズンを中心にしながら、これに取り組む必要がある。	<p>今後は、下記のとおり実施及び検討を行うことでより効率的な事業となると考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>年間実施計画の作成(除草時期・場所・均等性)</li> <li>基本的に繁茂する前に除草を行う。</li> <li>雑草対策(除草シート、チップ等)の検討</li> </ol>

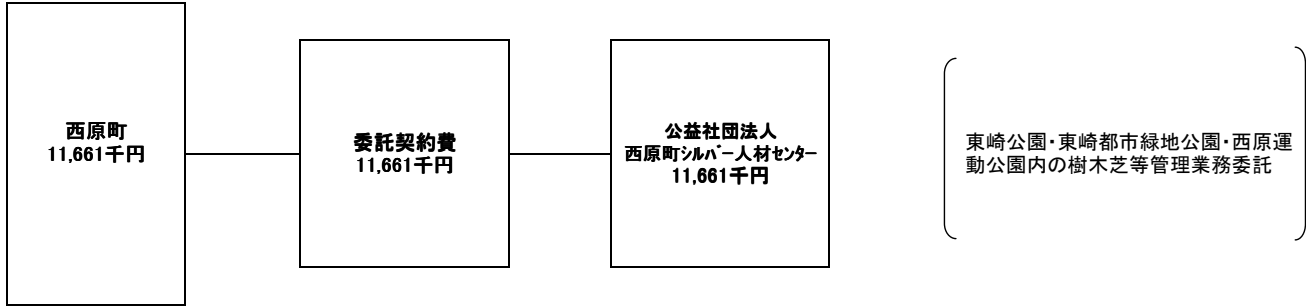
**今後の取り組み方針**

季節を問わず雑草等の除草作業に取り組むことが、沖繩らしい景観を維持することにつながるため、下記のとおり取り組む方針である。

- 年間実施計画の作成(除草時期・場所・均等性)
- 雑草対策(除草シート、チップ等)の検討

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,661	11,661	9,328	2,333	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・地方自治法第167条2第1項第3号の規定に準じて随意契約を行っており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

<b>市町村名</b>		西原町					
<b>平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】</b>							
<b>事業番号・事業名</b>	3-①	小学校英語活動指導員派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第三章-5-(4)-ア 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築				
<b>担当部署名</b>	教育部学校教育課	<b>事業実施（予定）年度</b> H24年度～H33年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b> III-3-(1)				
<b>事業内容</b>	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,132				
		(b) 予算現額	1,132				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,132				
	B. 執行済額		1,122				
	うち交付金充当額		897				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.1%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	小学校英語活動指導員配置数：2人	目標	( 2人 )	( )	( )	( )	
		実績	2人				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・小学校英語活動指導員2名を町内4小学校に配置した。 ・小学校外国語活動年間指導計画をチームティーチングの観点から見直し、改善を加えた。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	外国語活動が好きな児童の割合：80%以上	目標	( )	( 80% )	( )	( )	( )
		実績		85%			
	【参考指標】		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・児童英検及び英検検定受験者数及び合格者数	目標	( )	( 10名 )	( )	( )	( )
		実績		28名			
進捗状況説明	・外国語活動を好きと答えた児童が平均85%を超えた。 ・児童英検：ブロンズ級合格者3名、シルバー合格者5名、英検5級合格者19名、英検4級合格者1名。 （※平成25年3月29日公表版の指標は記載誤り）						

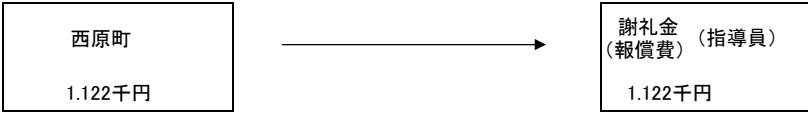
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア) 英語活動指導員の授業力の向上を図る必要がある。 (イ) 児童の英語力及び英語への興味関心把握の方法については、検討を行う必要がある。	(ア) 英語授業力向上のための学級担任とのチームティーチングのあり方や、評価方法についての研修会を派遣指導主事を講師として実施する。 (イ) 児童の英語力及び英語への興味関心を向上させる取り組みが求められる。

**今後の取り組み方針**

- 英語活動指導員の研修会を開催する。(年3回程度)
- 児童の英語力を診断するために児童英検及び児童の英語への興味関心を把握するためのアンケートを年2回実施し、授業改善につなげる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,132	1,122	897	225	10



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は公募により実績、知識等を勘案した上で選定しており、賃金については適正な手続きで執行された。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	教育相談員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部署名	教育部学校教育課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として教育相談員を配置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,920				
		(b) 予算現額	1,920				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,920				
	B. 執行済額		1,920				
	うち交付金充当額		1,536				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
<b>活動目標（指標）及び達成状況</b>	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	教育相談員配置数：3人	目標	( 3人 )	( )	( )	( )	
		実績	3人				
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として相談員3名を教育相談室へ配置した。						
<b>成果目標（指標）及び進捗状況</b>	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	教育相談員への相談件数：600件	目標	( )	( 600件 )	( )	( )	( )
		実績		396件			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	・当初見込んでいたより相談件数が目標を大きく下回った。これらは、教育相談室の認知度が児童生徒及び保護者に対して低いことが要因だと考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>相談室における相談件数が未だ低い。これらは、相談室の認知度が児童生徒及び保護者に対して低いことが関係していると思われる。相談員が学校訪問し、相談者の把握及び関わることによって相談室申し込み者は増えているので、認知度を高めるための広報活動が必要である。</p>	<p>○ 相談室の認知度を高める取り組みが必要である。 ○ 学校訪問を通して、各学校の教育相談担当者と情報交換を密に行い、学校での相談支援だけでは不十分な児童生徒及びその保護者を把握し、相談室の活用を促す取り組みを行う。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>○ 相談室の認知度を高めるために、町役場HP及び各幼小中学校HP等での広報。 ○ 相談員の定期的な学校訪問による相談者の把握に努める。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	1,920	1,920	1,536	384	
<pre> graph LR     A[西原町 1,920千円] --&gt; B[報酬 1,920千円]     subgraph Note [ ]         C[教育相談員3名の報酬]     end     B --- Note           </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○教育相談員は青少年の教育に関して豊かな識見を有する者に対して委嘱しており、児童や保護者の相談窓口等により問題行動等の未然防止を図ったり、学校や教育委員会のパイプ役としての役割を果たしている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	学校等公共施設改修事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部署名	教育部教育総務課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	全国と比較して学力格差の著しい沖縄県において、夏場においても安全で快適な学習環境を保持する必要があることから、教室内の老朽化の著しい扇風機を取り替える。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,799				
		(b) 予算現額	2,510				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 289				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,510				
	B. 執行済額		2,510				
	うち交付金充当額		2,007				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標・成果目標の達成状況も適性であったと考えている。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	西原東小学校扇風機改修	目標	( 64台 )	( )	( )	( )	
		実績	64台				
			目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	普通教室内の扇風機は老朽化が著しいため、故障や扇風機の稼働音がうるさく、夏場においても安全で快適な学習環境を保持するため改善を図る必要があった。今回の扇風機64台(16教室)の取り替えを行なうことで学習環境の改善を図ることができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	西原東小学校扇風機改修	目標	( — )	( 64台 )	( )	( )	( )
		実績		64台			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	扇風機取替によって稼働音が気にならない、快適な学習環境となったことで学習に集中できるように改善ができたと考えている。					

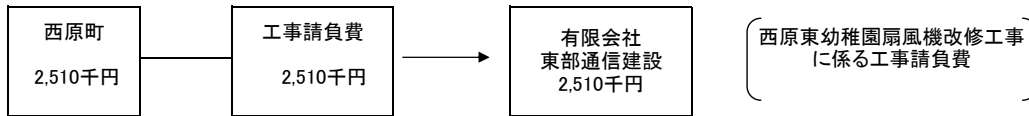
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	扇風機は、ホコリなどで汚れると風力が弱くなるので定期的に清掃を行う必要がある。	扇風機の清掃を定期的に行うことで、快適な学習環境を保持する。

**今後の取り組み方針**

快適な学習環境を保持するため、定期的な扇風機の清掃を行い、適切に維持管理していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,510	2,510	2,007	503	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札にて業者選定をしており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	子育て世代ゆいまーる支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	福祉部福祉課	事業実施(予定)年度	H24年度～H33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	乳幼児の感染症予防のため、空気清浄機(殺菌機能付)やインフルエンザ予防湿度計等を保育所(認可、認可外)、学童クラブ、児童館等へ設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	19,170				
		(b)予算現額	3,305				
		(c)増減額(b-a)	▲15,865				
		(d)前年度繰越額	0				
		A.計(b+d)	3,305				
	B.執行済額		3,305				
	うち交付金充当額		2,643				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初購入予定していた製品のランニングコストが高額で設置予定施設の負担が大きかったため、負担のかからない製品へ変更したこと、各施設への希望調査の結果、当初予定の半分の台数になり、さらに入札により単価が落ちたことにより、当初予算額より下回る執行額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空気清浄機設置数	目標	( 77台 )	( )	( )	( )	
		実績	77台				
	インフルエンザ予防湿度計	目標	( 64台 )	( )	( )	( )	
		実績	64台				
達成状況説明	当初の目標として、各施設の保育室や事務室の数を設定し、設置予定各施設へ設置希望及び希望台数のアンケートを実施して必要数を確認し配置した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	空気清浄機設置数	目標	( - )	( 77台 )	( )	( )	( )
		実績		77台			
	インフルエンザ予防湿度計	目標	( - )	( 64台 )	( )	( )	( )
		実績		64台			
	【参考指標】 町立及び認可保育園インフルエンザ発生状況	目標	( 2～3月計 43名 )	( 2～3月計 30名 )	( )	( )	( )
		実績		2～3月計 1名			
進捗状況説明	1月下旬から末にかけて各施設へ設置したため、インフルエンザ発生者数は2～3月を比較した。結果として、前年度より大幅な減少となったが、感染症の流行は毎年変化するので、今後も導入した空気清浄機やインフルエンザ予防湿度計を活用していきながら改善していきたい。						

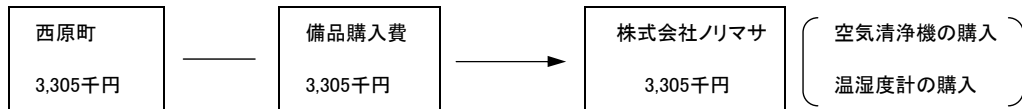
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>予防という観点から室内活動時は積極的に活用することが望ましいが、施設によっては、保育室や活動等の状況によって常時使用していないところも見られた。</p>	<p>各施設が積極的に活用し、感染拡大を予防することを指導していく。また、インフルエンザ等感染症は、飛沫または接触によって感染するが、手洗い・うがいが一番の予防策であるため、感染防止の更なる対策として手洗い・うがいの慣行を進めていきたい。</p>

**今後の取り組み方針**

今後の成果を上げるべく、一番の予防策である手洗い・うがいについて、インフルエンザ等感染症流行時のみならず、日頃から実践していくよう各施設で習慣付けをし、感染防止の徹底を行うようにしたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,305	3,305	2,643	662	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・4社入札によって選定されている。          ・町が購入し、町内の児童福祉施設へ無償貸与しているが、維持費等は各施設で負担してもらっている。          ・事前に各施設へアンケートを実施し、希望台数を取りまとめている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ク		
	総務部企画財政課		事業実施(予定)年度 H24年度～H33年度		世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部署名					III-1-(1)		
事業内容	ICTを活用した観光振興を図るため、ポータルサイトの構築や観光アプリ開発を行う。観光アプリについては、開発過程を研修対象とすることで若年者のITスキル向上を図る。また、町の情報発信と人材育成を兼ねて、若年者によるインターネット動画配信番組の制作に取り組む。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,110				
		(b) 予算現額	8,793				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 317				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,793				
	B. 執行済額		8,758				
	うち交付金充当額		7,006				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		消耗品に係る経費を対象外とした以外は、当初計画していた事業内容を全て執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「ポータルサイトの構築」及び「観光アプリの開発」のための調査・基礎設計の実施	目標	( 調査・基礎設計の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	調査・基礎設計の実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の観光振興に関する課題等の基礎調査にあたっては、受託業者によって行政職員、商工会、大学関係者、教員、地域企業、PTA連合会、町青年協議会を構成メンバーとした協議会を設置し3回の協議会及び2回の分科会を開催した。また、調査事業の方向性等が確認された。</li> <li>・ポータルサイトの構築や観光アプリの開発に向けた基礎設計のためアンケート調査、ヒアリング調査を行い本町の実態を把握した。</li> <li>・また、「ポータルサイトの構築」及び「観光アプリの開発」のための実証試験の一環として、「謎解きイベント 天使金丸の冒険」を西原きらきらビーチにおいて開催し、タブレット端末を活用したイベントを実施した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	「ポータルサイトの構築」及び「観光アプリの開発」のための調査・基礎設計の実施	目標	( )	( 調査・基礎設計の実施 )	( )	( )	( )
		実績		調査・基礎設計の実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	ポータルサイトの構築や観光アプリの開発に関する調査・基礎設計及びイベント実証実験を実施し、当該報告書の提出を受け、本町の観光についての課題や魅力の再発見など、今後の観光振興に資する資料を得ることができた。次年度からは、当該報告を活用し、ポータルサイトの構築に向け本格実施を進めていく予定である。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興について基礎調査を行ったところ、外国人を含めた観光客における本町の認知度はほとんどないことが分かった。</li> <li>人材育成事業については、大学生や社会人など向けの高度な技術を習得する講座のほか、小中学生向けのネットメディアリテラシーを含めた初期ICT講座が必要であることがわかった。</li> <li>動画配信事業については、サンエー西原シティ等で動画コンテストなどを開催するなど、子供たちの動画づくりへの動機付けが必要だと分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光サイト・アプリを開発するにあたって、本町の地域資源を再確認し、外国人を含めた観光客が求める観光ニーズを意識した開発が必要である。</li> <li>人材育成事業については、学生・社会人向けの即戦力を磨くような講座の開催と、児童生徒を対象とした安全なネットの利用方法などをはじめ、児童生徒が自らICT技術を活用して、インプット・アウトプットできるような講座も必要である。</li> <li>動画配信事業については、児童生徒の豊かで自由な発想に期待し、本町をPRするような動画のコンテストなどを開催したい。</li> </ul>

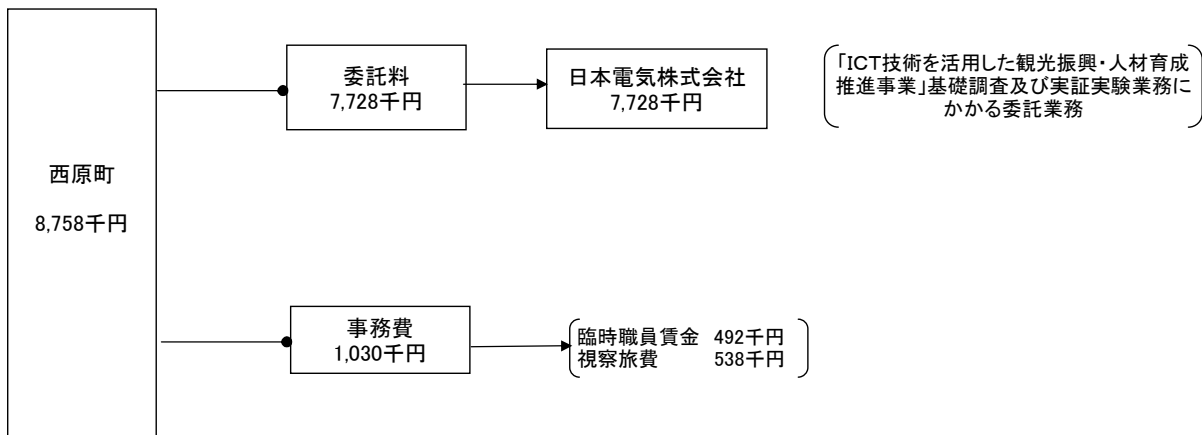
**今後の取り組み方針**

・観光ポータルサイト、観光アプリの開発については、町教育委員会文化財担当部署や産業課、商工会などと連携して、日本語・中国語・韓国語に対応したサイトの開発を行うとともに、内間御殿を中心とした文化財の歴史的価値の紹介、三線・琉球舞踊・空手などの琉球文化体験、きらきらビーチを中心としたマリニゾート観光のPR、飲食店の紹介など、本町の持つ観光コンテンツを総合的に紹介できるサイトとしていきたい。

・人材育成事業については、学生向け社会人向けの実践力を身につける講座を年6回、児童生徒によるネットリテラシーを含めた初の取組を予定する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
8,758	8,758	7,006	1,752	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名型プロポーザル方式(5社指名 3社プレゼン)により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○委託事業については、契約内容を遵守し期限内に成果物の納入が行われるなど適正に執行された。臨時職員賃金、視察研修旅費なども適正な手続きで執行された。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	